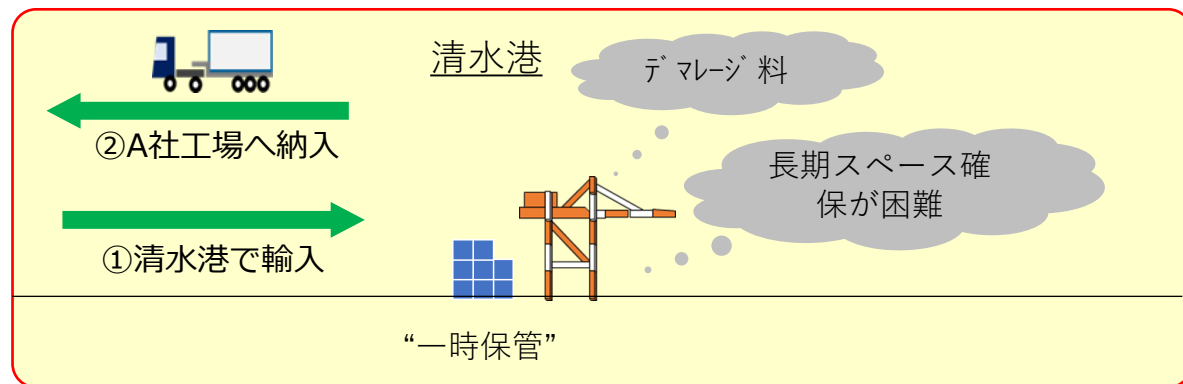


# 輸入原料 を 市原港でストック

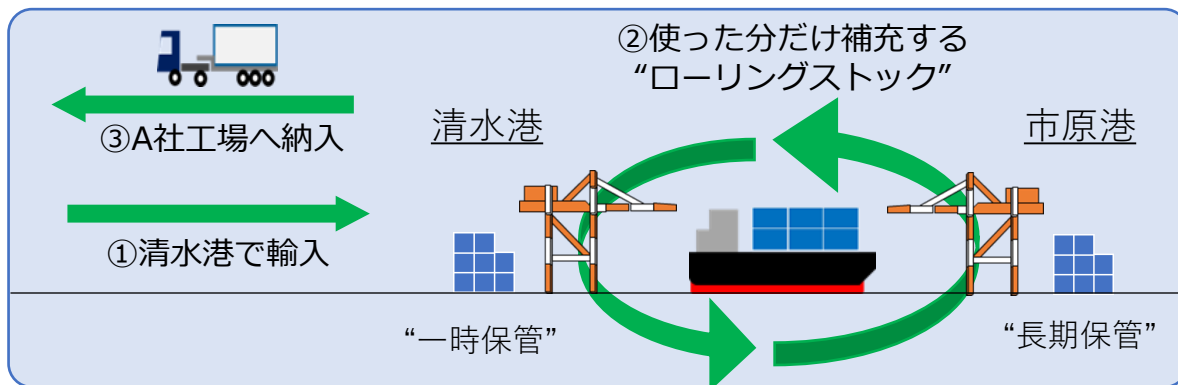
## ～ コストの削減 & BCP対策 ～

飲料メーカーA社さまに市原港を活用した”ローリングストック”をご提案。国際情勢の変動により、輸入船のスケジュールが不安定となる中で2022年より市原港を国内ストックポイントとしてご利用を開始。公共コンテナ埠頭はスペースやデマレージ料の点で長期保管が困難ですが、鈴与の自社コンテナ埠頭の市原港であれば可能です。市原港でコンテナのまま在庫を持ち、工場に納入した分だけを市原港に補充する”ローリングストック”を行うことで（導入後の図参照）、輸入船のスケジュール変動や工場の急な生産調整などにもスムーズに対応可能となりました。

### 導入前



### 導入後



### 導入によるメリット

#### 経済課題の解決

- ・ 港の安全在庫保管機能により、工場の安定操業実現
- ・ 長期化すると高額になるデマレージ料の回避

#### ESG

##### Environment

- ・ CO2・NOx削減 モーダルシフトによる排出量削減
- ・ 生活環境改善 通行時の騒音、渋滞、事故を回避

##### Social

- ・ 地域社会貢献 地方港インフラの活用
- ・ 災害時の備え 浸水侵-0.3mに立地するコンテナヤード

##### Governance

- ・ BCP対策 国内安全在庫の確保
- ・ 労働関係法令遵守 安全在庫を持つことによる業務標準化